

ゼロエミッション研究会 活動成果レポート

2019

ゼロエミッション研究会とは

公益財団法人 Save Earth Foundation(SEF) では、持続可能な循環型社会をめざし、排出事業者の皆様を対象に、廃棄物の適正処理（環境負荷の低減と法令遵守）推進を図るための勉強会「ゼロエミッション研究会」を2016～17年度に実施しました。

環境法令対応の第一人者である佐藤泉弁護士による「廃棄物関連法令の改正と今後」、千葉県職員で「産廃Gメン」として活躍された石渡正佳氏による「廃棄物処理業者選定のポイント」、専門紙「循環経済新聞」記者の新倉充氏による「食品リサイクル法の変遷」など、廃棄物関連の専門家による講演とワークショップを計12回開催し、多くの食品関連事業者の環境部門担当者にご参加いただきました。



2019年度 ゼロエミッション研究会

実践で学ぶ！持続可能な食品リサイクルループの作り方

そして2019年度、持続可能な食品リサイクルループの構築に関する知識やノウハウを学びながら、愛知県名古屋市を舞台に、食品リサイクル法に基づく再生利用事業計画の認定を受けて、複数の排出事業者が協働で取組む食品リサイクルループの構築をゴールとした取組みを企画しました。

通期講師には、小売業の環境部門責任者として多くの食品リサイクルループ構築実績を誇る百瀬則子理事（ワタミ）と、廃棄物・環境分野におけるコンサルティング経験豊富な志岐秀明理事（ガイアドリーム）を招き、本参加5社+オブザーバー7社での研究会をスタートしました。

上期の取組み

上期の取組み～基礎の確認と事前準備～

4/18
(木)

第1回勉強会

本企画の主旨の理解と、取組みに向けた意見交換を目的として実施しました。志岐理事の講演では、これまで以上に排出事業者が廃棄物の課題と向き合う必要があることを再確認しました。百瀬理事の講演では、食品リサイクルループについて、法制度と過去事例の確認を中心に、基礎知識の理解を深めました。講演のあと、それぞれの事業者が抱えている課題について参加者との意見交換を行い、次回勉強会までに行う現状把握の方法について確認しました。



6/13
(木)

第2回勉強会

名古屋市での食品リサイクルループ構築に向けた準備と位置付けた第2回勉強会。志岐理事の講演では、取組みを推進する際に直面する廃棄物処理業者（収集運搬業者、再生利用事業者）の選定のポイントを整理しました。百瀬理事の講演では、食品リサイクルループを実際に構築し、持続可能な取組みとして運用していくためのポイントを、実務の流れに沿って確認しました。その後、各社の現状把握状況、ループ構築に向けた懸案事項の確認を進める中で、再生利用事業者との関係性の構築が重要であるとの見解がまとまりました。



8/22
(木)

第3回勉強会

前回の勉強会を受けて、本企画に再生利用事業者として参加する「中部有機リサイクル」の前川覚社長を招き、同社の飼料化リサイクル施設の概要、飼料化のポイントと同社の特徴、そして飼料化原料としての食品残さの取扱いの注意点など、飼料化リサイクルに関する理解を深めました。また、志岐理事の講演では廃棄物処理法の観点から、排出事業者の義務である「処理状況確認」のポイントを整理しました。その後、次回現地見学会での確認事項を参加者と共有しました。



名古屋市で現地見学会を開催

～参加事業者間の合意形成～

10月17日（木）、本企画の舞台となる愛知県名古屋市にて、飼料化リサイクル施設の視察を主目的とした見学会を実施しました。まずは既に食品リサイクルに取組む排出現場の視察として、ユニー(株)の「テラスウォーカー宮」を視察。本参加2社の店舗もテナントとして入っており、飼料化に向けた分別、保管の状況を確認しました。

その後、中部有機リサイクルの飼料化施設に移動。収集運搬業者、生産者など今回の食品リサイクルループに参加予定の担当者と合流し、飼料化工程の視察と意見交換ののち、本企画の実現に向けた合意形成を図りました。これで、今回のループ構築に関わる全ての関係者との顔合わせを完了し、いよいよ認定取得に向けた実務的な調整をスタートしました。



2020年1月23日（木）再生利用事業計画認定申請書を提出！

現地見学会での合意形成以降、参加の各社における社内承認、収集運搬業者・再生利用事業者との折衝、農畜産物の購買についての検討など、様々な調整を個別対応しつつ、再生利用事業計画認定申請書の作成を進めました。

そして2020年1月23日、食品関連事業者5社（セブン&アイフードシステムズ、トリドールホールディングス、松屋フーズ、リンガーハットジャパン、ワタミ）、再生利用事業者（中部有機リサイクル）、生産者（三州食品グループ：サンエッグファーム）の担当者とともに、農林水産省、環境省、厚生労働省各省の担当官を訪問しました。事務局を務める SEF 担当者から説明とともに申請書を提出し、担当官との質疑応答、意見交換を行いました。各省担当官からは、外食産業の複数事業者による企業の枠を超えた協働の取組みであることを高く評価し、ぜひこの取組みを発展拡大してほしいという期待の声が上がりました。



3省担当者への主旨説明

次年度に向けた勉強会を開催

1月23日（木）、申請書提出のあとに開催した第4回勉強会では、ゲストスピーカーに東京農業大学名誉教授で（一社）日本有機資源協会会長の牛久保明邦先生を迎えました。

名古屋市での食品リサイクルループ構築を実績として、更なる取組の拡大と発展をめざし、改めて取組の原点を確認するため、「食品リサイクル法の検討から制定、見直しの経緯と今後について」というテーマで講演頂きました。参加者からは「担当になってから勉強していたつもりだったが、まだまだ知らないことだらけだったことが気付いて良い機会になった」「非常に興味深く、時間が短く感じた。もっと詳しく聞きたいのでまた講演をお願いしたい」といった意見が上がりました。



牛久保先生による講演

史上初！外食事業者5社協働の再生利用事業計画が認定取得！

そしてこのたび、再生利用事業計画の認定書が発行され、外食事業者複数社による飼料化の食品リサイクルループが、史上初の取組として認定されました。

この食品リサイクルループは、SEFが提供する資源管理適正化支援システム「SEF-Net」で運用状況を管理することにより、安全安心で持続可能な仕組みを構築しています。



参加者の声

(株)セブン&アイフードシステムズ 中上様

該当店の店長に対し、分別作業だけでなく「企業として環境に取り組み背景と目的」の説明から始めました。この取り組みにより、日々の業務が地球環境に直結していることを理解し、社内啓発に繋がっていくことを期待します。

(株)トリドールホールディングス 嘉屋様

食品廃棄物管理において、多種多様な背景を持つ外食企業が共同して今回の食品リサイクルループを構築したことに大きな意義を感じる。この取組で小さな一歩を踏み出したばかりなので、今後これを拡大並びに展開することで前進していきたい。

リンガーハットジャパン(株) 田中様

弊社は自社工場で一次加工を行い、そこで発生する残渣は全てリサイクルに回しています。店舗でも個食調理を行い、ロス低減に努めています。今回、この企画に参加させていただいたことに感謝するとともに、今後のリサイクルループの展開拡大に期待します。

ワタミ(株) 三島様

この企画に参加し、課題であった外食店舗の食品リサイクル率向上に加え、食品リサイクルループ構築のポイントを学ぶことができ、また他の外食事業者の皆様との課題認識の共有など、多くの成果を得ることができました。この取組みがより多くの地域に、より多くの事業者にも広がることを期待します。

三州食品グループ 大江様 (サンエッグファーム)

以前からリサイクルループの取り組みに関しては個別にお客様からお話を頂いておりましたが、食品廃棄物の回収、廃棄物の飼料化等、様々な課題があり実現できませんでした。

今回、各外食企業様が垣根を取り除き共同で取り組みされた結果が実現に結び付いたと感じます。

今後も、食品廃棄物の削減がどの企業様にも簡単に取り組める仕組みが出来るとを願います。



認定証



公益財団法人

Save Earth Foundation とは

私たちは、美しい地球を未来の子どもたちに残すため、限りある自然資源を有効利用し、持続可能な循環型社会づくりに貢献することを目的として活動しています。

事業内容：食品リサイクルループと廃棄物の適正処理を推進する資源循環事業と、森林の再生保全、生物多様性の保全、環境教育を推進する森林再生事業に取り組んでいます。

所管官庁：内閣府大臣官房（公益法人行政担当室） 代表理事：渡邊美樹

【賛助会員 入会のご案内】

会員特典：ゼロエミッション研究会に無料でご参加いただけます！

食品リサイクル、廃棄物関連法令、廃棄物管理など、様々な分野の専門家からのアドバイスを受けることができます！

【賛助会員 年会費】

特別賛助会員：1口 500,000 円

賛助会員（民間）：1口 50,000 円

賛助会員（個人）：1口 10,000 円

実践で学ぶ！食品ロスの削減と

持続可能な食品リサイクルループの構築



✓ 2020 年中に食品リサイクルループ認定取得を目指します！

✓ 廃棄物の現状把握から食品ロス削減策、ループ認定取得まで徹底サポート！

✓ 形だけの取組みではない、SDGs 達成に貢献する持続可能な仕組みづくりを実現！

小売・外食の
環境・CSR 担当者
必見！

期間 2020 年 9 月～ 2021 年 3 月

対象 SDGs への取組を推進したい食品小売業・外食産業の環境・CSR 担当者

費用 70,000 円 / 社
※SEF 賛助会員（民間団体）加入者は無料 別途：見学会交通費、個別相談遠方時の交通費

内容

- ・勉強会（4 回予定）、現地見学会
- ・個別相談（随時受付）
- ・仕組みづくり～認定申請
- ・認定取得後の食品リサイクルループ運用管理

お申込み
お問い合わせ

スタッフが詳しく説明いたします。まずはお気軽にお問い合わせください！

公益財団法人 Save Earth Foundation 事務局
TEL: 03-5737-2744 E-mail: info@save-earth.or.jp



美しい地球を子どもたちに残したい
公益財団法人 Save Earth Foundation

TEL:03-5737-2744 FAX:03-5737-2793 E-mail:info@save-earth.or.jp